

2019
December

12

Special

広報

このまちを、もっと好きになる

ふくちやま

Fukuchiyama city Public Relations

決算

決算
特別号



主な内容

事業者・地域の強みを力に ～福知山のこれからを考えて～
―大河ドラマ決定 竜王戦開催― 福知山城を全国に発信
一日でも早く安心な生活を再建 安全に暮らせるまちを目指して



平成30年度 決算

平成30年度の一般会計の歳出決算は、前年度比22億円増(5.6%増)の415.4億円となりました。これは、昨年起きた7月豪雨災害に対する復旧対応などの建設事業が22億円増えたことが主な要因です。

一方で、財政構造健全化に向け、財政構造の硬直化を示す経常収支比率は、1.2ポイント下がって96.5%となり、8年ぶりに改善に転じました。将来の財政状況の危険度を示す将来負担比率も改善し、先を見据えた健全な財政運営に一步前進しました。

支援だけでなく成果を追求

人口減少・少子高齢化の影響で、20年後には本市の人口が約1万人減少するとの予測があります。まち全体が縮小していく中で大切なことは、支援だけでなく自立を促す投資・成果指向型への体質改善を進めていくことが、今後ますます必要になります。

事業者・地域の強みを力に

福知山ならではの特産品を見つけ出し全国へ売り込む

(約1.8億円)

耕作放棄地の増加、後継者不足、有害鳥獣対策問題など農業を取り巻く課題は多様です。新規就農者への支援、農機具の購入補助、防護柵の設置支援、市場価格の安定に向けた補助など農業の安定化に向けた施策を展開しています。

一方で、これからの農業に大切なことは「稼げる農業」へシフトしていくことです。経営の視点を持って取り組む農家を支援し、これからの農業を牽引するモデル農家を養成。約300万円を投入し、GAP認証取得の支援や地域の食の「これぞ」というものを「ふくちやまのエエもん」に認定。加えて販路拡大の支援を行っています。

昨年エエもん認定を受けた商品の中には、注文が相次ぎ生産が追いつかない商品や本市ふるさと納税返礼品で人気の商品となるなどの成果も出始めています。

観光という切り口で地域の魅力を引き出す

(約1300万円)

過疎化や高齢化などで活力を失いつつある地域の資源を活かし、持続可能な地域づくりを進めるために立ち上がった「福知山観光地域づくりセンター」。

昨年度は3つの地域で事業着手。三和町大原地域で取り組んだのは、安産祈願などで多くの人が訪れる大原神社を起点に、地域全体を結婚式場に見立てたウェディングプラン。地域ならではのおもてなしとプロの専門業者が連携し、事業の質を確保しながらも地域の独自性を感じられる商品として展開しています。また、他の地域でもそれぞれの特性を生かした取り組みが進んでいます。

強みを見つけて売上UP！1年で1000件近くの相談に対応
(約2400万円)

あらゆる分野で経営や起業の悩みを抱える人や企業の相談に乗る、福知山産業支援センター「ドッコイセ！biz」。無料で何度でも利用できる、そうした体制の中で昨年は947件の相談があり、その8割がリピーター。170年続く酒造を継ぎ、様々なアイデアで世の中を驚かせてきた西山周三センター長のアドバイスを受け、早速行動に移し、売上向上に繋がった事業者も多数います。

例えば株式会社小林ふぁ〜むは「農業を始めたもののなかなか方向性が定まらず試行錯誤していました。そんな私たちの考えや今までやってきたことを聞いてくださった後『トマトジュースでいきましょう』というセンター長の一言で一気に動き始めました。ただ前に進むことだけでなく時にはストップもかけてくれ、自然と自分たちの強みを自ら見つけ出す力をつけてもらえたと思っています」と話していました。



小林ふぁ〜む自慢の「とまとのじゅ〜す」。ドッコイセ！bizをきっかけに大手百貨店でも販売され、オンラインショッピングでは8か月待ちとなったこともあるほどの人気商品です。

明竜王戦第4局福知山対

売新聞社 日本将棋連盟 イベント主催：福知山市 対局会場：福知山



- ①静かにはじまりを待つ対局室
- ②プロ棋士と多面指しによる指導対局
- ③前夜祭で本市から対局者に「由良川扇子」を贈呈
- ④子ども将棋大会決勝戦の講評をする谷川九段



将棋熱に沸いた福知山

(約1200万円)

福知山城で熱戦が繰り広げられた3日間。対局だけでなく様々な関連イベントも開催しました。対局前日には、ホテルロイヤルヒル&スパ(土師新町南)で「前夜祭」を開催し、棋士と120人の将棋ファンがふれあいました。

対局初日には、市内の小中学生を対象に「福知山こども将棋大会」と谷川浩司九段が講師を務める「竜王アカデミーin福知山」を開催。また、大人向けのイベントとして、プロ棋士と多面指しで対局できる「指導対局」も行いました。対局二日目には、「大盤解説会」を開催し、高倍率の当中選した150人の参加者が、プロ棋士たちの解説を交えて対局を見守りました。

財源確保にも様々な工夫

竜王戦では、対局会場の仮設やイベント開催などの費用負担がありました。しかし、「企業版ふるさと納税」や「ふるさと納税型クラウドファンディング」、京都府の補助金などを活用し、一般財源の負担を

5%に抑えることができました。

メディア掲載100件以上／174万件的ネット視聴で全国に発信

福知山を全国に向けてPRするために、羽生善治九段の通算100期タイトルがかり、メディアの注目が集まっていることから竜王戦開催を誘致。将棋界最高峰のタイトル戦を本市で開催できたことで、100件を超えるメディア露出に加え、インターネットで174万件的の対局視聴数を記録し、本市の魅力を内外に強く発信できました。

また、大河ドラマに向けた情報発信との相乗効果で、福知山城の入館者数は前年を大きく上回るペースで増加し、今年に入って過去最高の入館者数を達成。また、竜王戦で対局者が食べた「勝負めし」を求めて遠方から本市に訪れる人も出ています。

さらに、竜王戦をきっかけに市内で新たに子ども向けの将棋教室が、市民有志のもと2か所誕生。今年8月には「こども竜王戦」が開催されるなど、市内に将棋文化が芽吹き始めています。

―大河ドラマ決定 竜王戦開催―

福知山城を全国に向けて発信

去年は、2020年大河ドラマで本市ゆかりの戦国武将・明智光秀が主人公として描かれることが発表され、市内は喜びに沸きました。平成24年から署名活動などで大河ドラマの誘致に励み、ついに悲願成就となりました。

また、第31期竜王戦七番勝負の第4局が福知山城で開催されることも決定。竜王戦の長い歴史の中でも、お城での開催は福知山城がはじめて。平成30年11月23日～25日まで、羽生善治九段と広瀬草人八段の対局や関連イベントも含め、福知山が将棋熱に沸いた3日間でした。



入館者数が過去最高を更新している福知山城。大河ドラマ決定、竜王戦、一日城主の取り組みなどでメディア露出が増え、全国的な注目を集めはじめています。

明智光秀が築いた城下町 福知山 特別大使にクリス・ペプラーさん就任

ラジオパーソナリティでありタレントとして海外の有名人の来日インタビューやテレビ・CMの出演などで活躍しているクリス・ペプラーさん。実は明智光秀の子孫とされており、テレビ番組でもその血縁関係が明らかになっています。その意外性が本市のシティプロモーション「いがいと！福知山」とリンクすることから、特別大使に委嘱しました。

去年は、本市公式動画に出演。まだ知られていない明智光秀と福知山の魅力をクリス・ペプラーさんとともに発信していきます。

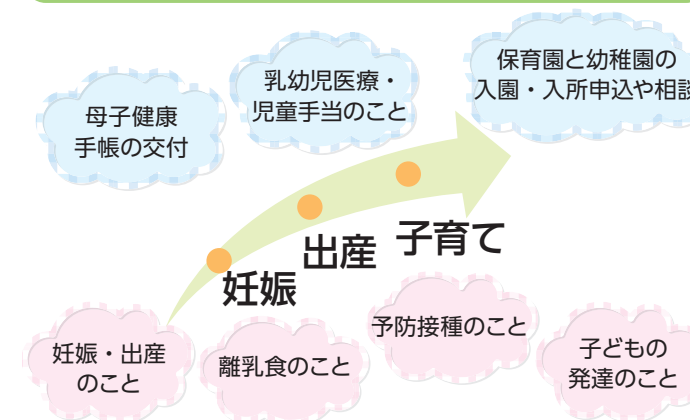


対局で話題となった勝負めしとおやつ

		羽生 善治 九段		広瀬 草人 八段	
初日	おやつ	ピスタチオ	洋菓子マウンテン	ビッ菓！まるごと丹波のマロンぱん	まころパン
	お 昼	福知山産京地どりの親子丼	柳町	肉のまち福知山ステーキ重定食	竹下
	おやつ	ビッ菓！まるごと丹波のマロンぱん	まころパン	ティラミス	洋菓子マウンテン
2日目	おやつ	チーズケーキ	洋菓子マウンテン	丹波の実り	京都華頂大学 石川さん
	お 昼	福知山名産鬼そばと名物天ぷら二種	鬼そば屋	福知山産京地どりの親子丼	柳町
	おやつ	プリン	洋菓子マウンテン	チーズケーキ	洋菓子マウンテン



子どもに関する手続きのワンストップ化を実現



子育て総合相談窓口開設 より丁寧な相談体制で子育てをサポート

窓口を一本化
子育て世代へ切れ目ない支援を
(245万円)

これまで複数の窓口で対応していた妊娠・出産でのサポート、保育園・幼稚園や児童手当の手続きなど、子育てに関わる窓口を一本化しただけでなく、子育てのあらゆる相談に対応する「子育て総合相談窓口」を開設しました。

専門スタッフを増強
訪問件数も1.4倍増

また、窓口を一本化するだけでなく、母子の健康や児童虐待などの専門スタッフも増員し、各家庭の実情に合わせた丁寧な支援ができるようになりました。こうした相談体制ができたことで、保健師や助産師の家庭訪問件数が1.4倍に増加しました。

窓口以外にも相談の場を広げる

子育て総合相談窓口は、市民からの相談だけでなく学校などと協力して虐待問題などにも取り組み、また、今年度からはLINEを使った相談も受け付けています。

これからの情報社会を担う人材育成を 公立大に「情報学部」設置へ（約1.5億円）

新町商店街の空き店舗を改修し、京都工芸繊維大学も設計に協力し完成した「福知山公立大学まちかどキャンパス吹風舎」^{ふくちやま}。大学の教職員・学生・地域の人々が集い交流する場として、昨年は4479人が吹風舎を利用。学生と地域の交流がますます盛んになっています。また、これからの情報社会を担う人材を育成する「情報学部」が令和2年4月に新設されます。キャンパスの改修など開設に向けた準備を進めてきました。

くわえて、昨年は新たに京都工芸繊維大学福知山キャンパスが開講し、福知山の地域に入って学習する学生がさらに増えています。こうした流れを加速させ、福知山公立大学が市民の「知の拠点」の役割を果たすことが今後ますます求められます。



「あいサポート運動」協定締結式



自分らしく幸せに コミュニケーション の輪を広げる（約300万円）

障害の特性を理解し、障害のある人に対してちょっとした手助けや配慮をすることで社会参加を支えていこうと、鳥取県から始まった全国的な取り組み「あいサポート」運動。昨年5月に平井伸治鳥取県知事を招いて、鳥取県と協定を締結し、本市もこの運動に参加。障害のある人を支援する動きを広げていきます。

また、昨年には、手話が言語であること、障害の特性に応じた多様なコミュニケーション手段の選択と利用機会の保障を定めた条例を施行。障害のある人にとって、社会参加の障壁となりうるコミュニケーションの壁を取り除いていくための取り組みがスタートしています。

決算トピックス 将来を見据えて

未来を担う子どもたちに 快適な教育環境を整備（約35.6億円）

教育施設の集約を図りつつ、より良い教育環境を作っていくために、「六人部小学校」や「三和学園」では地域の要望を踏まえ、教室やトイレなどを増築し、スクールバスも購入しました。令和3年には大江地域で小中一貫校の開校が予定されています。昨年度は校舎増築に向けた設計業務などを行い、開校に向けた準備を進めました。

そして、未来を生き抜く力をいち早く身に付けるために、タブレットなどを使ったプログラミング教育を先行実施。今年度からは全小学校3・6年生を対象を拡大しています。

また、福知山ドックイセ大使の杉本敬三^{すぎもと けいぞう}さんが、「食の楽しさを知ってほしい」との思いから考案した献立が登場。食と夢について子どもたちへ授業も行われました。



7000人が福知山で肉を堪能 福知山の観光の新たな可能性（200万円）

明治時代に「山陰常設家畜市場」が開設され、本市はかつて西日本三大畜市場の一つとして、食肉の流通を支えていた市場であったことが伝えられています。実は焼肉激戦区となっている本市。全国的に見ても、人口10万人あたりで換算すると22・86店（出典：総務省統計局「平成26年経済センサス」）と3位の鳥取県に並ぶほどです。焼肉や焼き焼きのみならず、鶏料理、ジビエ料理など、多彩な肉料理の魅力に溢れています。

そんな「肉のまち 福知山」をアピールするために、「福知山MEET×MEETフェスティバル」を昨年10月に初開催。27店が出店、約7000人が来場し、全ての商品が売り切れるほどの大盛況でした。



一日でも早く 安心な生活を再建 安全に暮らせる まちを目指して

昨年の7月豪雨・台風は全国の広範囲で記録的な大雨を降らせ、本市でも、多くの家屋や店舗、農地などに甚大な被害をもたらしました。

本市は、過去6年で4回もの水害に見舞われています。昨年の7月豪雨では、国・府や近隣の自治体、姉妹都市である島原市、多くのボランティアの皆さんの支援をいただきました。

早期の災害復旧と防災・減災対策を一番に考え、安心・安全なまちを市民の皆さんとともに作り上げていきます。



私市での被災の様子



和久市での浸水被害の様子

安心な生活を取り戻す

災害復旧を第一に(約16.7億円)

被害を受けた道路などの公共施設の復旧、被災した一般家屋のうち約150戸への復旧支援を行い、安心な生活を取り戻すことを最優先に進めました。大規模災害発生時など、いざというときに備えた財源である財政調整基金を取り崩した一方で、ふるさと納税サイトなどを通じて全国各地から多くの寄附が寄せられるなど、支援の輪が広がりました。

国・府・市が連携

水害を最小限に(約12.5億円)

度重なる水害に苦しめられている本市。国・府・市が連携して取り組む治水対策の中で本市は、内水対策として排水ポンプ車を1台購入して大江町に追加配備、一時的に水を溜め込むことができる調整池などを6か所整備しました。

この内水対策は、法川・弘法川流域、土師地区で、来年の出水期に効果が発揮できるよう現在も国・府・市が一体となって急ピッチで進めています。

地域防災の要

消防団活動の強化を(3.3億円)

福知山市消防団は、災害現場の最前線で活躍する地域防災の要です。頻発する災害に備え、消防団の活動環境を整備するため、「中夜久野分団」・「中六分団」などの詰所、車庫を例年の倍である4か所で新築しました。

また、消防団車両は、これまで年間2台程度の更新でしたが、昨年度は10台を更新するなど、集中的な整備も進めました。激甚化する災害に備え、今後も積極的な整備を続けていきます。



①応援に来ていただいた朝来市職員とともに被災家屋を調査。
②各地から多くのボランティアの皆さんに来ていただきました。



②



長尾の被災した市道の復旧工事



ポータルサイトを通じて 全国から応援の声が寄せられました

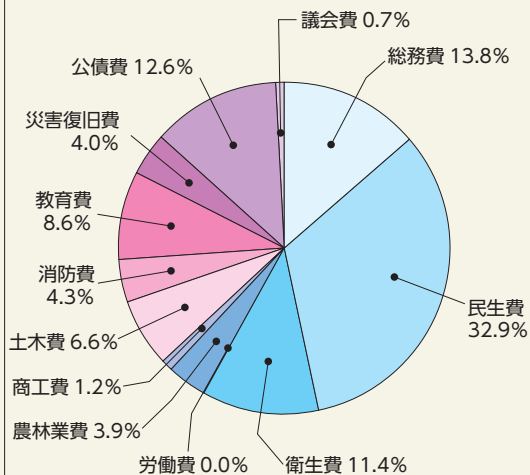
頑張れ福知山！

度重なる水害で本当に胸が痛いですが、山と川に囲まれた福知山の美しい街を愛しています。

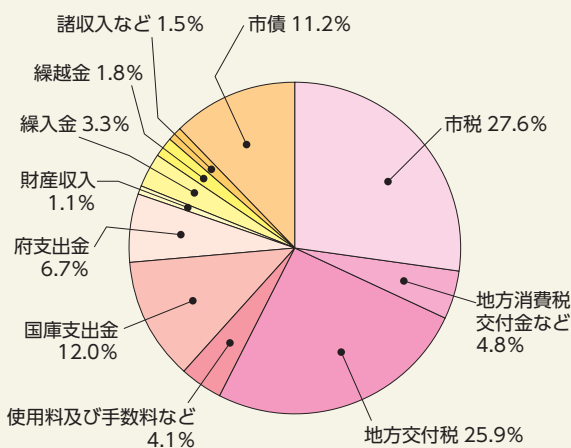
災害に負けないでください！微力ながら応援させていただきます！

経常収支比率や財政健全化判断比率は改善 5.3億円の黒字決算も災害により基金は減少

歳出決算の構成比(総額415.4億円)



歳入決算の構成比(総額423.6億円)



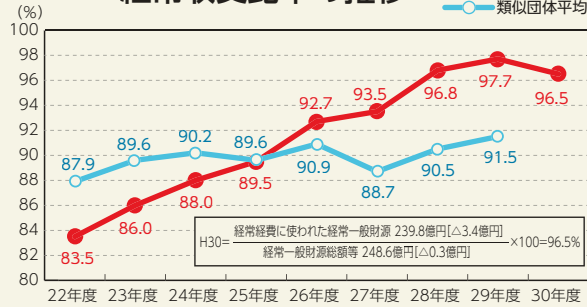
一般会計や企業会計は 黒字を維持

平成30年度一般会計の決算収支は、7月豪雨などの大規模な災害の影響もあり、予算規模が増大する中、財政調整基金を取り崩すことなどで対応し、約5・3億円の黒字決算となりました。基金の残高全体は、財政調整基金や市債償還の減債基金などを取り崩したことで、1・5億円減少しました。

また、特別会計12会計のうち黒字は4会計、赤字は2会計、差し引きゼロが6会計で、全体では約1・2億円の赤字となりました。

一方で、水道事業会計と下水道事業会計はあわせて約1・8億円の純利益を計上。病院事業会計は、大江分院が約1900万円の純損失を計上しましたが、全体では約900万円の純利益を計上しました。

経常収支比率の推移



経常収支比率は 8年ぶりに改善

8年ぶりに改善

財政状況の硬直化を示す経常収支比率は、前年度より1・2ポイント下がって96・5%となり、8年ぶりに改善することができました。これは、行政改革、財政構造健全化指針などに基き、既存事業の見直しを進め、経費を抑制することができたためです。ただし、依然として固定的な収入のほとんどが固定経費に費やされている構造に変わりはないため、今後更なる改善が求められます。

さらに詳しく知りたい人へ

決算情報は市ホームページでも公開しています。
下のQRコードを読み取るか
【福知山市 決算】で検索。



問 財政課
TEL 24-7035・
FAX 23-6537

ただし、20年後に今より人口が1万人減少すると推計されている本市は、まだまだ予断を許さない状況となっています。

また、財政健全化を判断する指標で、資金繰りの危険度を示す「実質公債費比率」の単年度は0・1ポイント、将来財政を圧迫する危険度を示す「将来負担比率」は10ポイント好転しました。

本市の貯金を示す基金の残高は、災害の影響もあり、1・5億円減少しました。しかし、借金を示す市債の残高は7・8億円減少し、将来への負担を軽減させることができます。

改革を進める